

梅の2次加工場の建設は

町長／これは是非進めます



市来 修議員

市来 本町も大変財政が厳しい。町の財源は税収である。そのためには、町民の所得向上を図ること、その一つとして「さつまの梅」2次加工場建設である。営農を梅に切り替えて家計が立ち直った方がおられる。梅を本町の特産品にするため、2次加工場の建設の考えはないか。



1次加工された梅が入っている樽

町長 商品は原産地表示が義務づけられるようになり、永年取引がある企業が、本町に2次加工場を建設したい申し出がありました。この工場を誘致できれば地元雇用もでき、我が町の特産品が全国に発信され、まさに産業としての農業の展開となります。梅は梅干しだけでなく、梅酢から石けん、塩、カルシウム、化粧水などにも商品化されておりますので、これは是非進めて行きたいと思っております。

町長 事業断念による代案の各種事業については、実施可能なもの、今後検討、国・県への要望などがある。新町では新規事業として小売店舗改造の補助事業を実施。TMO構想も新たに見直し、4通り会のまちなか再生委員会を構築し、できるものから実施します。

舟倉 国道拡幅、河川改修、区画整理事業の3本柱断念後の現状とこれからの商工業の育成と振興対策の取り組みは。



舟倉武則議員

商店街の振興対策は

町長／検討協議し段階的に実施

物品購入は地元商店で

町長／町内業者で調達を基本に

舟倉 地元で賄えるものは地元で。特に小中学校の消耗品は地元商店での購入を願いたい。その結果が税収につながるのでは。



屋地商店街

町長 厳しい財政状況下で町予算の物件費も年々減少であるなかで、全課・局に通知し本町経済の活性化のため、より一層地元からの購入を推進する。今後、商工観光課や商工会と連携をとり町内業者から調達し地元経済活性化へ波及するよう努めます。

その他の質問
・ 県立公園の今後の整備について
・ コンベンションタウン事業の促進について